

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	152
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画			飯田市環境基本計画(21'いいだ環境プラン)	
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画	
法令・例規等			都市の低炭素化の促進に関する法律(エコまち法)		
			長野県地球温暖化防止条例		
			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民、事業者			
	意図	地域の産業界を中心に、地域の気候風土を活かした省エネルギー住宅の飯田独自仕様の構築と流通を含めた仕組みづくりを行う。また、省エネルギー住宅改修への支援制度の構築を目指す。			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
	日本都市計画学会と地元若手建築士が参画する低炭素都市づくり自治体支援プログラムにおいて、温室効果ガスの削減と地域経済の循環のモデル構築に資する飯田市版ZEH仕様の構築に向けて、民間事業者を含めた協議会を立ち上げることとなりました。また、自治体独自のエネルギーマネジメント方針を構築して行くため、市内エネルギー消費実態調査を実施しました。建設部では、地元建築士へ新築物件に対する建物性能調査を実施し、市内における建築物の実態を把握することができました。 市内企業への省エネルギーの取組に繋がる意識啓発のため、6月に省エネルギーセミナーを開催しました。		企業省エネの啓発			193			
			エネルギー消費実態調査			10,832			
		その他の経費		0					
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	ZEB/ZEH研究会・普及活動の実施回数	回	6	12	6	9	6	17	
	企業省エネの意識啓発セミナー	回			1	1			
	市内エネルギー消費実態調査	回			1	1			
1年度決算(千円)	予算額	11,360	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額	11,025	(国)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(10/10) ※上限、10,000千円						
	財源の状況	国庫支出金	10,000						
		県支出金	0						
		地方債	0						
その他		0							
	一般財源	1,025							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	7	11,360	11,025	省エネルギー推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		飯田市版ZEH仕様書の方向性を確認し、省エネ住宅の普及や地域産材の流通の仕組みづくりが重要であるとの認識もされ検討を進めてきましたが、今後は飯田市版ZEH仕様の構築と地域産材の流通の仕組みづくりの早期構築が必要です。また地元建築士を含めた地域内産業の関係者との協議の場づくりが必要です。市内エネルギー消費実態調査では、把握した調査結果を基に市民との情報共有と新たなプランづくりの基礎資料とすることが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		ZEHへの理解を深めていただくために、有識者を招いて講演会開催などを行い周知していく必要があります。また、リニア駅周辺整備に伴い、低炭素化に向けて魅力発信施設のZEH仕様での建築の具体的な方法を検討する必要があります。							
次年度に向けての取り組み		協議会をもとに産業界などと協議を重ね飯田版ZEH仕様の素案を策定します。市内エネルギー消費実態調査の結果を各種計画の基礎資料として活用します。また、省エネセミナーを引き続き開催し、行動に結びつくよう継続的に支援できる体制を検討します。							